

☆☆☆青年新規就農者ネットワーク☆☆☆

「一農ネット便り」令和6年9月3日発行<210号>

発行者：農林水産省経営局就農・女性課

1 オンライン研修のご案内（～第3回 地域一丸となった農泊の成功事例から学ぶ～）

前号でお知らせした「ミライの農業をつくる研修プログラム」の第3回のご案内です。今後の農業経営に役立つ5つのテーマのうち「農泊」に関する研修を実施します。

今回は、グリーン・ツーリズムで高い評価を受ける栃木県大田原市の事例を題材に、（株）大田原ツーリズム代表取締役の藤井氏から、取組の効果や地域連携について伺います。また、同市にて農家民泊「花園創」を始めた米農家の西岡氏（momofarm 代表）から、教育旅行と個人旅行の違い、取組を契機とした考え方の変化等についてご経験をもとにお話しいただきます。

研修受講料は無料で、関心のあるテーマのみの単発受講も可能です。リアルタイムでの受講が難しい場合は、アーカイブの受講もできます（ただし今回はアーカイブ配信なしのパートがありますので、リアルタイムでの参加がお勧め！）ぜひこの機会に気になるテーマについて学んでみませんか？皆様のご参加をお待ちしております。

▼「第3回：農泊～地域一丸となった農泊の成功事例から、今後の展望と他地域での農泊の可能性について学びます～」

2024年9月18日（水）※オンライン会議ツール（zoom）で実施

19:00～20:30 講師による講義、クロストーク、質疑応答

20:30～21:00 交流会 ※参加自由

▼今後の研修日程及び概要※いずれもオンライン会議ツール（zoom）で実施

第4回：2024年11月頃 農林水産物・食品の輸出

第5回：2025年1月頃 働きやすい環境づくり、農福連携

※日程・講義内容等、詳細は決定次第公式HPより発信します

第1回（有機農業）、第2回（スマート農業）のアーカイブのお申し込みも受け付けています。（2025年3月末まで）

詳しくはHP(<https://agri-innovation.jp/futureagri/online>)をご確認ください。

▼お申し込みはこちらから（アーカイブ受講のお申し込みもこちらから）

<https://agri-innovation.jp/futureagri/online/entry-online>

※締め切りは各講義開催日の3日前までとなっております。

◇お問い合わせ先

1. 株式会社マイファーム「ミライの農業をつくる研修プログラム」事務局

MAIL: mf_future@myfarm.co.jp

※本研修は、農林水産省の令和 6 年度農業教育高度化事業のうち全国事業により、株式会社マイファームが実施するものです。

2. 農林水産省経営局就農・女性課（農業教育グループ）

TEL：03-6744-2162(直通)

2 農業者年金を活用した資産形成。

老後資金の心配は農業者年金で解消しましょう。

▼貯蓄だけではなく、運用も重要です。

皆様もご存知のとおり、昨今の政策金利の引上げを受け、各金融機関においても金利引上げの動きがみられます。しかしながら、定期預金などの利率を見てみると、金融機関にもよりますが、いまだ 0.1%程度に留まっています（100 万円を 1 年間預けて 1,000 円（税引き前）の利息）。これを見れば貯蓄だけで老後資金の準備を行うには不十分であるとお分かりいただけると思います。そこで、老後の資産は、貯蓄だけではなく運用も重要と考えられますが、その際、安全性と一定の利回りの確保を目指した運用を行っている農業者年金を活用いただきたいと思います。

農業者年金であれば、加入者の皆様からお預かりした保険料を一元的に運用しているため、結果的にご自身で運用せずとも運用が可能ということになります。制度発足以降 22 年間の運用利回りも平均で年率 3.05%の実績となっています。そのため、簡単に資産形成ができ、安心して老後資金の準備を行うことが可能となります。

▼農業者年金の運用の特徴

- ・（独）農業者年金基金が一元的に運用を行うため、お客様ご自身で運用商品を選択するなどの必要はなく、加入した後は基本的に手続きなしで OK！
- ・リスクの少ない国内債券を中心に、株式等を一定割合組み合わせた分散投資による安全かつ効率的な運用を行っています。
- ・一般の預貯金等の利子には約 20%の税金がかかりますが、農業者年金の運用益は非課税です。そのため、その分多く年金原資が積み上がります。また、運営経費（人件費や施設費等）は、国が負担しているため加入者が負担する必要のないことも大きな特徴です。

▼農業者年金の加入要件

そんな農業者年金には、次の 3 つの条件を満たせばどなたでも加入できます。

1. 年間 60 日以上農業に従事している方
2. 20 歳以上 65 歳未満の方
3. 国民年金第 1 号被保険者の方（保険料免除者を除く。60 歳以上は国民年金任意加入被保険者）

この機会に是非ご加入をご検討ください！

◇農業者年金の詳細はこちら（独立行政法人農業者年金基金 HP）

<https://www.nounen.go.jp/>

◇お問い合わせ先

1. 最寄りの農業委員会またはＪＡ

2. 独立行政法人農業者年金基金

TEL：03-3502-3199 メール：info@nounen.go.jp

3. 農林水産省経営局経営政策課年金業務班

TEL：03-6738-6163（直通）

編集後記

令和6年台風第10号に伴う災害で被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

第209号で告知いたしました新・農業人フェアが、8月30日に開催されました。

天候の不安がある中、足を運んでいただきありがとうございました。

来場者は1000名を超え、皆様の就農への熱意を改めて感じたところです。

次回は10月27日に大阪にて開催されます（@グランキューブ大阪）。

皆様のご来場をお待ちしております！

◆経営局 Facebook「農水省・農業経営者 net」では、農業者の皆様に役立つ情報を発信しています。「いいね！」をし、フォローをお願いいたします。

<https://www.facebook.com/nogyokeiei>

◆就農情報ポータルサイト「農業をはじめの.JP」（全国農業会議所）では、農業に興味のある方や就農したい方に役立つ情報を発信しています。

<https://www.be-farmer.jp/>

◆メールアドレス等登録情報の変更・削除（農林水産省 HP）

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

◆農林水産省経営局就農・女性課(TEL：03-3502-6469 (内線 5195)) が配信しております。ご意見・ご感想については、以下メールアドレスまで。

【青年新規就農者ネットワークチーム】1nou@maff.go.jp